

- 1 単元名 たのしいあきいっぱい～幼保小交流会～
- 2 指導の構想

【何ができるようになるか】(単元の目標)

「自分を高める」

- ・作りたいおもちゃや自分がやりたい役割を決めることができる。(自分で決める力)
- ・幼保小交流会を振り返り、自分のよさを実感することができる。(自分を発揮する力)

「人とよりよく関わる」

- ・幼稚園や保育園の友だちの立場に立って行動したり、親切な声かけをしたりすることができる。(多様性の尊重)

【何を学ぶか】(教材の価値)

本単元は、秋の木の実などを使っておもちゃを作り、幼稚園・保育園児を招待しておもちゃ大会を開く活動を通して、幼児の立場に立って必要な役割や活動内容を考えることができ、進んで幼児と交流しようとするものである。秋のものを使っておもちゃを作ることを通して、自然に親しむとともに、「秋のものを使って作ったおもちゃで遊ぶと、とても楽しい。」という思いをもつ。さらに児童の思いは、昨年度の経験を生かしてこの素晴らしさを校区の幼稚園や保育園の幼児に伝えたいと発展していく。これらを学ぶことは、主体的に伸びようとする行動を喚起することができるため、大変意義深い。

【実施するためには何が必要か】(人・もの)

- ・久原小学校1年担任との連携
- ・けやきの森幼稚園・ひさやま保育園杜の郷年長児担任との連携

【道徳との関連】

B-(6) 親切、思いやり
「はしのうえのおおかみ」

【どのようにして学ぶか】

生活科の単元の流れ [単元計画 (21時間)]

(1) 目標をもつ (14時間)

まず、秋のものを採集し、これらを使って作れそうなおもちゃを考え、作りたいものを決めておもちゃ作りを行う。ここでは自分自身で作りたいものを決められたか、おもちゃを使ってしたいことを考えられたかを話し合う。

(2) 実践する (6時間) 【本時含む】

次に、昨年度の経験や2年生との活動の振り返りをもとに、おもちゃ大会を開く計画を立て、準備を行う。自分たちの経験だけでなく、幼稚園の先生から年長児の実態を教えてもらうことで、考えている役割や進め方でよいかを探る。ここでは幼稚園児や保育園児が楽しめるおもちゃ大会を開くための役割や活動内容が考えられているかを話し合う。

(3) 振り返る (1時間)

最後に、おもちゃ大会を振り返り、幼稚園児や保育園児に楽しんでもらえる活動ができたかを考える。ここでは相手の気持ちを考え、相手に合わせて活動できたかを話し合う。

【児童の実態】

本学級の児童は、27名中18名が、幼稚園や保育園の年長児の11月に、当時の1年生からおもちゃ大会に招待されて遊んだ経験をもっている。また今年の9月には、2年生から生活科「うごくくわたしのおもちゃ」でおもちゃ大会に招待されて遊んでおり、「おもちゃ大会で活動することは楽しい。」という思いと「優しくお世話されて嬉しかった。」という思いをもっている。

普段のようすを見ると、友だちが困っていたら手を差し伸べようとするのができる児童がほとんどだが、相手の気持ちを考えて行動することができる児童はまだ少ない。また、自分から積極的に関わりをもとうとしていない児童もいることが分かった。

3 本時

(1) 目標

- 写真やビデオメッセージを手がかりにして、幼稚園や保育園の友だちが楽しんで参加できるおもちゃ大会の役割や活動内容を考えることができる。

(2) 準備

- ① 2年生と活動した時の写真②ビデオメッセージ③学習プリント④ホワイトボード⑤秋のもの

(3) 展開

過程	学習活動・児童の反応	指導の手立て（○）と評価（◇）
導入 5分	<p>1 おもちゃ大会を開くことを確認し、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育園の友だちが「楽しかった」と言ってくれるおもちゃ大会にしたいな。 	<p>○ めあてをつかむ手助けとなるよう、2年生から招待されたおもちゃ大会の写真を提示する。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>（めあて）ようちえんやほいくえんのともだちにたのしんでもらえるおもちゃたいかいにするための、かかりやしごとをくふうしよう。</p> </div>	
展開 32分	<p>2 おもちゃ大会に必要な役割や活動内容について話し合ったり体験したりする。</p> <p>(1) どのような役割が必要か、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生から遊び方を説明してもらって遊び方が分かったから、説明係がいるよ。 ・どこに行ったらいいか迷っている時、呼んでもらえて嬉しかったから、誘い係がいるよ。 <p>(2) 係のミニ体験を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「魚釣りコーナーに来て。」と言って誘ったらいいんじゃないかな。 <p>(3) 幼稚園の先生からのビデオメッセージを視聴し、活動内容について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優しく声をかけると、年長さんは安心して遊びに入れるみたいだ。 <p>(4) 修正したことをもとに、もう一度ミニ体験を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一緒に魚釣りコーナーに行こう。楽しいよ。」と誘ってみよう。 	<p>○ 2年生との遊び大会の写真をもとに、自分たちがしてもらって嬉しかったことを想起させて、必要な役割を考えさせる。</p> <p>○ 活動時の言葉をホワイトボードに書かせ、実演させて年長児に楽しんでもらえるか考えさせる。</p> <p>○ 多様な活動内容が考えられるよう、年長児の実態が分かる内容のビデオメッセージを提示する。</p> <p>○ ホワイトボードに考えを付け加えさせ、それをもとに再実演させる。</p>
終末 8分	<p>3 本時学習を振り返る。</p> <p>(1) 自分のやりたい係や活動内容を学習プリントに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼び込み係をしたいから、優しく誘えるようにしたい。 <p>(2) 次時の学習について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次は自分が何の係をするか、グループで話し合って決めよう。 	<p>○ 次時の学習活動が明確になるよう、プリントにやってみたい係と活動内容を書かせるようにする。</p> <p>◇ 幼稚園や保育園の人が楽しくおもちゃ大会に参加できる係や、そのために自分がどのような活動をしたいかを明確にできたか。〈学習プリント分析〉</p>